

まちのわだい

～カメラスケッチ～



花火と雪の融合

2月に開催予定だったさむさむまつりが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となったことから3月5日、さむさむ花火大会が開かれました。

しんと降り積もる雪の中、打ち上げられた280発の花火は、感染症収束の願いを込め、静かな町の夜空を彩りました。

木の温もりや森林の大切さを伝える取り組みの一環として、北海道森林組合連合会と農林中央金庫から木のおもちゃ一式が3月15日、わくわく園に寄贈されました。

当日は、北見広域森林組合の坂下組合長と新生紀森林組合の小林代表理事組合長が訪れ、「木のおもちゃを通して、子どもたちの健やかな成長を願っています」と話し、菊池町長は「大切に使用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

木のおもちゃ寄贈



町の素敵な瞬間を紹介しています。

今月はわくわく園の「訓小がっこうたんけん」です。



卒園・卒業おめでとうございます

町内では、訓子府高校で3月1日、訓子府中学校で15日、訓子府小学校で18日にそれぞれ卒業式が行われ、わくわく園では23日に卒園式が行われました。合わせて130人（居武士小学校4人含む）が卒業（卒園）しました。

卒業生（卒園児）の代表者に卒業（卒園）証書が手渡され、校長（園長）先生や来賓から贈る言葉を受けました。

子どもたちは、先生や友達との思い出を胸に、学び舎などを後にし、また、わが子の成長に感極まって涙を流す父母も見受けられました。

